

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス青空			公表日	令和7年2月1日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境 ・ 体制 整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	13	1	スペースは基準の面積を確保しています。	子どもたちの体が大きくなり、部屋が狭く感じられるので、物の配置などを工夫し、危険が無いようにします。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	14		利用人数の適正より多く配置しています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	11	3	必要に応じて、その都度改善しています。	建物の老朽化・構造上、完全バリアフリーにするのは難しいが、子どもの状況に応じ工夫していきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	14		毎日、開所前、閉所後に職員が清掃し、時には模様替えや補修を行っています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	14		着替えやクールダウンが必要な時には、必要に応じて個別のスペースを利用しています。	
業務 改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	14		朝礼にて毎日の振り返りをし、目標を立てています。パートさんとも情報を共有しています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	14		年度末の施設評価表を参考にし、またそれ以外にも意向を把握できるように取り組んでいます。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	4	月1回の職員会議、毎日の朝礼、それ以外にも常に発言しやすい話し合いの場を設けています。	職員だけでなく、送迎担当やパートの方々にも、話しやすい職場になるように心がけていきます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	14		市役所の監査のみ実施していますが、受けた意見は取り入れ改善しています。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	12	2	社内、社外にて職員が年に一度以上、研修を受けています。	受けた内容を、職員・パートに共有し、より良い支援をしています。
適切 な 支 援 の 提 供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	14		ホームページを通して、適切に公表しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	14		利用開始時にアセスメントを作成し、その後も送迎時や保護者モニタリングを行い、課題を聞き計画を作成しています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	14		施設内モニタリングや職員会議を行い、職員全員が共通理解できるよう心がけています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	13	1	作成された計画は職員たちで共有し、支援につなげています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	14		子どもたちの状況を常に観察し、利用記録に残し確認しています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	14		支援会議などで児発管とともに職員全員で話し合い、確認しながら作成しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	14		クラスごとの特色を加味したプログラムを施設全体で話し合っ決めていきます。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	14		季節や月ごとの行事、地域の行事には前もって話し合い決めて参加しています。時には、子どもの意見を取り入れ活動しています。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	14		子どもの状況や保護者・相談員と話し合った内容を計画に反映し、対応しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	14		毎日、職員全体で朝礼を行い、変更内容や前日の出来事など共有しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	14		帰りの送迎後、その日起きた出来事や児童の様子を話し合って対応策を立てています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	14		利用記録を活用し、内容の共有を心掛けています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	14		半年に1度、モニタリングを行い、支援会議にて見直しをしています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	14		常に確認しながら作成しています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	14		子どもへの声掛け、問いかけには開かれた言葉をかけ、自ら選択できるように医師や意見を大事にしています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	14		必ず児発管が参加するようにしています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	14		関係機関と密接に連携ができるように関わりを維持しています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	14		学校にもよるが、やり取りを密に行い、変更があった際にはすぐに対応できるよう全員で連携しています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	11	1	担当者会議など、聞ける場で出来る限り聞いています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	8	まだ卒業生がおらず前例がありませんが、他事業所へ移行する時には支援内容の情報を提供しています。	今後、卒業生が出てきた時には、支援の内容や様子、情報の共有をしていきます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	8	4	ほっとピアの助言や研修、相談員などを通じて、助言を受けています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6	6	ほかの事業所のイベントに参加したり、パートさんのお子さんや遊んだり、機会を設けています。	お出掛けや公園遊び、イベントなど交流を持てる場を作っています。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	10	3	参加しています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	14		利用記録や送迎時に保護者と子どもの様子を伝えていきます。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	9	今はまだできていませんが、今後必要であれば情報を収集してきます。	ご家庭からの要望、必要があれば行えるように学んでいきます。
保護者への	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	14		契約時、利用開始時に説明し、伝えていきます。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	14		子どもや保護者の意見を尊重し、意向を確認する機会を設けています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	14		半年に一度はモニタリング、1年に一回は相談員も含め話し合いの場を設け、同意を得ています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	14		相談は常に受けられるようにしています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	10	保護者会としては行えていませんが、イベントにて交流する機会を設けています。	保護者より要望があれば、開催できるように対応していきます。

説明等	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	14		苦情があった際には、その都度、職員で話し合い改善に向けて努めています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	14		季節や行事のおたよりに加え、日々の様子はブログにて発信しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	14		施錠のできる書庫にてしっかり保管をしています。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	14		障害の特性に応じて、意思の疎通ができるように努めています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	14		地域市民館を利用しイベントを行っています。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	14		各種マニュアルを作成して、周知しています。随時、訓練も行っています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	14		職員で委員会を実施し、研修、共有を行っています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	14		利用時にアセスメントにて確認をしています。状況を確認し、職員間で情報共有をしています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	14		契約時、個別の記録にて確認しています。誤食のないよう、保護者と連携が取れるようにしています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	14		定期的に研修、訓練を行い、安全確認を行っています。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	13	1	保護者から連絡先を聞き、緊急時、迅速に連絡を取れるようにしています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	14		速やかに報告書作成し、職員全体(パートまで)共有をしています。改善・予防策についてしっかり話し合いをしています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	14		虐待防止委員会を設置し、定期的に研修を開催しています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	14		保護者に説明を行い、個別支援計画書にも記載させていただいています。		